

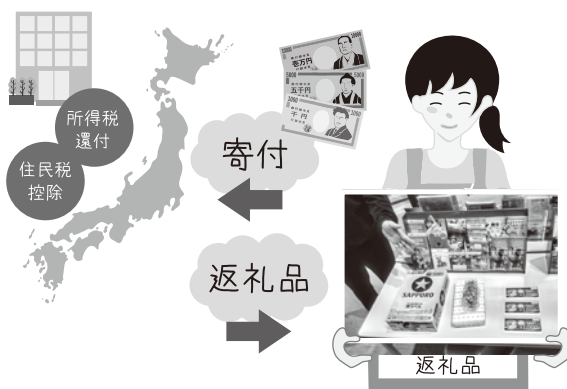
レポート
第4弾

ふるさと納税 税込アップに『自動販売機』の巻

新型コロナウイルスの感染拡大による「巣ごもり需要」もあり、全国的にふるさと納税の利用が拡大する中、那須町でも2020年度、過去最高の約3億700万円を記録。

従来はポータルサイトで手続きをする方法しかなく、「観光で町を訪れ、魅力に直接触れた方たちにも応援してほしい」との思いから道の駅友愛の森観光交流センター内に県内自治体で初めてとなる『ふるさと納税自動販売機』が設置されました。

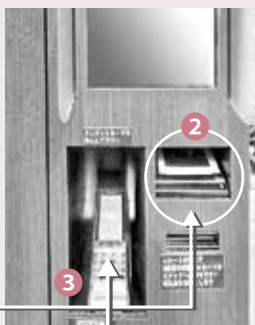
自販機は1万円～10万円の寄付が可能。支払い時に名前や住所の入力が必要だが、運転免許証があれば読み取り部分に当て、5分ほどで済む簡単な手続きです。レシートをセンター窓口で提示すると、寄付額の3割相当の商品券などの返礼品を、その場で受け取り、税控除に必要な書類は後日郵送されます。



ふるさと納税自販機の使い方



1 希望する寄付額をタッチ



2 免許証をスキャン
(手入力も可)

3 決済 (クレジットカードのみ)

4 レシートを観光交流センター内スタッフへ渡す

5 その場で商品券などの返礼品を受け取る



道の駅友愛の森観光交流センター内に設置されました

あったらいいなあ

- 道の駅東山道伊王野にも設置
- 免許証の置き忘れ対策
- モニターにご当地の動画を流す
- 宿泊施設やレジャー施設、ゴルフ場にも設置し、連携した魅力ある返礼品

やってみた感想

町外から訪れた方が立ち寄りやすい道の駅に設置したことで、那須町の地場産品や地元施設の魅力を発信できる。その魅力を感じたお客様がその場で返礼品を選定し、寄付していただくことで、更に那須町を好きになってもらい、何度でも訪れたいと思う観光地になると嬉しいです。